



# 猪苗代湖がラムサール条約 湿地に登録されました

## ラムサール条約湿地登録

本町は令和6年度から、福島県、会津若松市、郡山市と協力・連携し、猪苗代湖のラムサール条約湿地登録に向けて手続きを進めてきました。

このたび、7月23日から31日までの9日間にわたりアフリカ大陸の南部に位置するジンバブエ共和国で開催された第15回ラムサール条約締約国会議(COP15)において、猪苗代湖の登録が承認されました。日本国内では54番目、県内では尾瀬に次いで2番目となる国際的に重要な湿地として認定されました。

7月26日に現地で行われた環境省が主催するサイドイベントに各自治体の代表者(本町からは薄治彦参事兼企画財務課長)が出席し、猪苗代湖の価値や魅力をアピール。その後に行われた会談で、ラムサール条約事務局長のムソンダ・ムンバ氏から各自治体に登録認定証が授与されました。



# Pick Up

今月の話題

## 夜空に大輪の花が咲く いなわしろ花火大会

音楽に合わせて打ち上げられたスターマイン

いなわしろ花火大会は8月16日、町運動公園で開かれ、約2000発の花火が夏の夜空を鮮やかに彩りました。東日本大震災からの復興と子どもたちに「希望の花火を見せてあげたい」との思いから始まった本町の花火大会。今年のテーマは、町合併70周年記念のキャッチフレーズにもなっている「笑顔・つむぐ・未来」。合併70周年を記念した特別花火や音楽に合わせたスターマインが夜空に打ち上げられました。

花火打ち上げ前には、人気のアニメキャラクターショーやふくしまキッズマンショーが行われ、訪れた家族連れなどがステージイベントを楽しみました。また会場には、たくさんの出店が立ち並び、大勢の観客でにぎわいました。



会場を盛り上げたふくしまキッズマンショー

# Contents — 【目次】

- 02 Pick Up
- 03 猪苗代湖がラムサール条約湿地に登録されました
- 04 まちのわだい
- 07 キラリ光る おらが村/地域おこし協力隊通信
- 08 「笑顔つむぐリレー」ほか
- 09 町合併70周年記念 第29回猪苗代新そば祭り
- 10 いなわしろタウンページ
- 16 暮らしの情報広場
- 18 みんなの美術館/食生活改善推進員コーナー

## 今月の表紙



【撮影日】8月28日  
【撮影場所】さくらこども園

毎年8月下旬にこども園で行われているスイカ割りにみんなでチャレンジ。お友達の指示する声でスイカに向かって行くはずが、あらぬ方向へ進む園児も。スイカは割れませんでした。最後はみんなで美味しくいただきました。写真は左からさくら組の渡部唯人くん、小檜山朔くん、大久保颯人くん。



町民向け  
情報配信



マチイロ  
まちを好きになるアプリ



ios用



Android用



ムンバ事務局長(中央)と各自治体の代表者。右が薄参事兼企画財務課長

## ラムサール条約とは？

1971年2月2日にイランのラムサールという都市で開催された国際会議で採択された湿地に関する条約で、正式名称は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」です。採択の地にちなんで、一般に「ラムサール条約」と呼ばれています。

### 【保全・再生】

私たちの生活を支える重要な生態系として、幅広く湿地の保全・再生を呼びかけています。

### 【賢明な利用(ワイズユース)】

湿地の生態系を維持しつつそこから得られる恵みを持続的に活用すること。

### 【交流・学習】

湿地の保全や賢明な利用のため



交付された登録認定証

めに、交流、能力養成、教育参加、普及啓発を進めることを大切にしています。

## 今後の取り組み

猪苗代湖がラムサール条約に湿地登録されたことにより、国内外における認知度の向上が見込まれ、環境保全や経済面へのより良い効果が期待できます。登録になったことによる新たな規制は生じませんので、農業や観光業に影響はありません。

町は、福島県と2市1町で連携・協力を図りながら、賢明な利用に合致する新規事業や認知度向上のさらなるPR活動に取り組んでいきます。

### 【問い合わせ先】

企画財務課 企画調整係  
☎(62)2112